



<p>研修名</p>	<p>自殺対策支援者研修「うつ病の早期介入と自殺予防」 ～「メンタルヘルス・ファーストエイド」の理解と活用～</p>
<p>講師</p>	<p>九州大学病院 精神科神経科 講師 加藤 隆弘 先生 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学分野 テクニカルスタッフ 浦田 裕美 先生</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和2年12月16日(水) 14:00 ～ 17:00</p>
<p>開催場所</p>	<p>北九州市総合保健福祉センター 2階 講堂</p>
<p>参加者数</p>	<p>25名 ○参加者の内訳 保健師、看護師、社会福祉士、教員、作業療法士など</p>
<p>研修の 内容等</p>	<p>・各種相談支援窓口・機関において相談支援に従事する人を対象に、「メンタルヘルス・ファーストエイド(こころの応急処置)」を紹介した。相談支援の現場において、うつ病など心の不調を抱えている人への対応について解説を行った。</p> <p>・講義形式にてメンタルヘルス・ファーストエイドとは何か、また、うつ病などの疾患について学び、演習形式(ロールプレイ)にて「傾聴」や「リスク評価」の場面で良い例、悪い例を実際に体験することにより、実践で活かして頂くことを目的とした。また、ロールプレイ後にはリフレッシュ方法のひとつとしてスワイショウを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うつの可能性がある方に、うつかもって伝えることをためらっていましたが、心配しているということをきちんと伝えられるようになっていこうと思いました。 ・実際にどのように話しを進めていくのか、ロールプレイングを通して枠組を持つことができた。 ・何気なく見過ごしていたことを思いきって話してみようと思いました。 ・実際に講義を聞き体験することで、自信がついた。ありがとうございました。 ・具体的な対応が分かりやすく学べ、大変参考になった。

